

昭和52年度決算状況の公表

瀬戸町一般会計及び特別会計の決算を地方自治法第233条第5項の規定により決算の要領を公表します。

1. 一般会計

昭和52年度における一般会計の決算額は歳入決算額1,494,869千円であり歳入歳出差引額は14,564千円の剰余金を生じました。以下決算の概要について説明いたします。

決算の概況

(1) 一般会計歳入

款	予算額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入未済額	(A)と(B)の比較	(B)の構成比
(1) 町税	52,169,000	57,417,999	54,716,015	2,701,984△	2,547,015	3.7
(2) 地方譲与税	11,670,000	11,670,000	11,670,000	0	0	0.6
(3) 自動車取得税交付金	9,473,000	9,473,000	9,473,000	0	0	0.6
(4) 地方交付税	522,529,000	522,529,000	522,529,000	0	0	35.0
(5) 交通安全対策特別交付金	51,000	0	0	0	51,000	
(6) 分担金及負担金	8,406,000	8,383,350	8,383,350	0	22,650	0.6
(7) 使用料及び手数料	3,850,000	4,040,400	4,040,400	0△	190,400	0.3
(8) 国庫支出金	356,306,000	338,221,311	338,221,311	0△	1,915,311	22.6
(9) 県支出金	296,518,000	295,469,367	295,469,367	0	3,048,633	19.6
(10) 財産収入	6,681,000	6,287,025	6,287,025	0	393,975	0.4
(11) 寄付金	1,000	0	0	0	1,000	
(12) 繰入金	1,000	0	0	0	1,000	
(13) 繰越金	12,669,000	12,669,913	12,669,913	0△	913	0.8
(14) 諸収入	5,871,000	6,609,551	6,609,551	0△	738,551	0.4
(15) 町債	226,800,000	226,800,000	226,800,000	0	0	15.2
歳入合計	1,492,995,000	1,497,570,916	1,494,868,932	2,701,984△	1,873,932	100.0

(2) 歳出

款	予算額 (A)	支出済額 (B)	不用額	(A)と(B)の比較	(B)の構成比
(1) 議会費	32,461,000	32,014,796	446,204	446,204	2.2
(2) 総務費	155,947,000	153,969,289	1,977,711	1,977,711	10.4
(3) 民生費	156,868,000	153,784,574	3,083,426	3,083,426	10.4
(4) 衛生費	81,798,000	80,755,161	1,042,839	1,042,839	5.5
(5) 労働費	21,893,000	21,786,900	106,100	106,100	1.5
(6) 農林水産業費	343,665,000	341,784,431	1,880,569	1,880,569	23.1
(7) 商工費	2,077,000	2,055,789	21,211	21,211	0.1
(8) 土木工費	413,189,000	411,818,258	1,370,742	1,370,742	27.8
(9) 消防費	13,977,000	13,609,356	367,644	367,644	0.8
(10) 教育費	114,641,000	112,982,063	1,658,937	1,658,937	7.6
(11) 災害復旧費	32,593,000	31,860,039	732,961	732,961	2.2
(12) 公債費	123,885,000	123,884,228	772	772	8.4
(13) 諸支出金	1,000	0	1,000	1,000	
(14) 予備費	0	0	0	0	
歳出合計	1,492,995,000	1,480,304,884	12,690,116	12,690,116	100.0

歳入歳出差引 14,564,048円 翌年度へ繰越すべき財源 0円 実質収支額 14,564,048円



人口

(12月末日現在)

世帯数	1,466戸
人口	4,357人
男	1,989人
女	2,368人

昭和54年2月10日 発行:愛媛県西宇和郡瀬戸町 編集:瀬戸町総務課



少年式「元服」

二月四日の立春を前にして、三日、町内の各中学校では、「元服」を祝う「少年の日」の記念式典が行われました。

この日、元服を迎えたのは、十四歳になった中学校二年生八十二名(三机中四十四名、四ツ浜中三十八名)で自覚・立志・健康を誓って「元服」した。

各中学校では、少年の日は、少年の日の主張発表、記念植樹、餅搗き、記念撮影等の行事がおこなわれ、参列者の父兄、来賓の方々よりお祝いや励ましのことが送られた。

2/28~3/13

春先は火災の多発期
春の全国火災予防運動

二月、三月は空気が非常に乾燥し、強い風が吹くことが多く、加えて暖房器具などの火気使用などもあって、一年のうちで火災の多い時期です。火災による犠牲者も多く、五十年前は、この二か月間で年間死者の約三割を占めています。

今年も、二月二十八日から三月十三日まで、「春の全国火災予防運動」が行われます。

移動する火元「摂氏七〇〇度

たばこが火災原因のトップ

出火原因で最も多いのは、たばこの不始末で、昭和三十五年以來、昭和十八年間、件数・損害額ともトップの座を占めています。五十二年中のたばこによる火災は、全国で九千六百九十九件発生し、損害額は約百二十一億円と前年の五十二年に比べて十四億円も増えています。

さて、愛煙家は全国で約三千万人。つまり、国民の三人に一人が一日当たり男性約二十四本、女性約十六本、合計すると一日に全国で約八億二千五百万本のたばこが吸われている計算になります。喫煙は、朝起きてから夜寝るまで、しかも時と場所を選ばず。当然のことながら、たばこという、火元「は喫煙者とともに移動し生活のあらゆる場面で一歩間違えば出火の原因になる危険性を秘めています。

たばこは、火元としては小さいが燃焼温度は七〇〇度〜八〇〇度です。私たちの身の回りには、この温度以下で着火する可燃物がたくさんあります。たばこを吸う方は、いま一度正しい喫煙管理の実行を心がけてください。

主な内容

- ◇少年式……………1
- ◇昭和52年度決算状況……………2.3.4.5
- ◇お知らせ……………5.6
- ◇人々のうごき……………6

広報せと

直診勘定

(1) 歳入

款	予算額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	(A)と(B)の比較	(B)の構成比
1. 診療収入	27,042,000	27,314,538	27,314,538		0△	272,538	82.2
2. 使用料及び手数料	30,000	0	0		0	30,000	
3. 県支出金	500,000	500,000	500,000		0	0	1.5
4. 繰入金	39,467,000	5,415,000	5,415,000		0	34,052,000	16.3
5. 諸収入	13,000	6,020	6,020		0	6,980	
歳入合計	67,052,000	33,235,558	33,235,558		0	33,816,442	100.1

(2) 歳出

款	予算額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不用額	(A)と(B)の比較	(B)の構成比
1. 総務費	56,173,000	56,050,819		122,181	122,181	86.1
2. 医療費	10,158,000	8,647,420		1,510,580	1,510,580	13.3
3. 施設整備費	390,000	369,400		20,600	20,600	0.6
4. 基金積立金	1,000	0		1,000	1,000	
5. 公債費	1,000	0		1,000	1,000	
6. 予備費	329,000	0		329,000	329,000	
歳出合計	67,052,000	65,067,639		1,984,361	1,984,361	100.0

歳入歳出差引 △31,832,081円 翌年度へ繰越すべき財源 0円 実質収支額 △31,832,081円

簡易水道事業

(1) 歳入

款	予算額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	(A)と(B)の比較	(B)の構成比
1. 使用料及び手数料	5,472,000	5,425,223	5,425,223		0	46,777	39.9
2. 繰入金	8,378,000	8,172,674	8,172,674		0	205,326	60.1
歳入合計	13,850,000	13,597,897	13,597,897		0	252,103	100.0

(2) 歳出

款	予算額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不用額	(A)と(B)の比較	(B)の構成比
1. 総務費	4,038,000	4,016,571		21,429	21,429	29.5
2. 業務費	7,898,000	7,667,960		230,040	230,040	56.4
3. 公債費	1,914,000	1,913,566		434	434	14.1
歳出合計	13,850,000	13,597,897		252,103	252,103	100.0

湾港整備事業

(1) 歳入

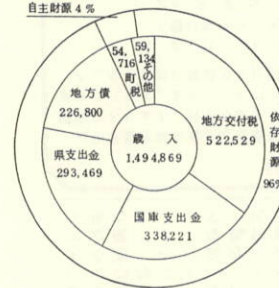
款	予算額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	(A)と(B)の比較	(B)の構成比
1. 使用料及び手数料	500,000	155,233	155,233		0	344,767	50.0
2. 財産収入	177,000	0	0		0	177,000	25.6
3. 繰入金	6,166,000	5,998,273	5,998,273		0	167,727	24.4
歳入合計	6,843,000	6,153,506	6,153,506		0	689,494	100.0

(2) 歳出

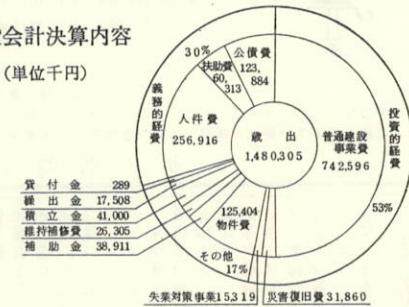
款	予算額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不用額	(A)と(B)の比較	(B)の構成比
1. 総務費	1,500,000	112,239		387,761	387,761	1.9
2. 公債費	6,343,000	6,041,267		301,733	301,733	98.2
歳出合計	6,843,000	6,153,506		689,494	689,494	100.0

広報せと

自主財源 4%



一般会計決算内容
(単位千円)



2. 特別会計

昭和52年度特別会計は国民健康保険事業特別会計外3会計でありこれを総括した決算状況は歳入決算額259,117千円歳出決算額290,949千円歳入歳出差引額△31,832千円で不足額を国民健康保険直診勘定会計の翌年度歳入を繰上充用しました。

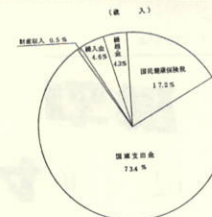
特別会計決算 特別会計事業勘定

(1) 歳入

款	予算額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入未済額	(A)と(B)の比較	(B)の構成比
1. 国民健康保険院	35,933,000	42,341,483	7,509,401	7,247,482△	1,161,001	17.2
2. 使用料及び手数料	2,000	500	500	0	1,500	
3. 国庫支出金	149,134,000	149,990,903	149,990,903	0△	856,903	73.4
4. 財産収入	970,000	968,208	968,208	0	1,792	0.9
5. 繰入金	13,583,000	9,312,405	9,312,405	0	4,270,595	4.6
6. 繰越金	8,745,000	8,744,735	8,744,735	0	265	4.3
7. 諸収入	5,000	0	0	0	5,000	
歳入合計	206,372,000	211,358,234	204,110,752	7,247,482	2,261,248	100.0

(2) 歳出

款	予算額 (A)	支出済額 (B)	不用額	(A)と(B)の比較	(B)の構成比
1. 総務費	8,858,000	8,389,811	468,189	468,189	4.1
2. 保険給付費	188,818,000	187,055,853	1,762,147	1,762,147	91.6
3. 基金積立金	969,000	968,208	792	792	0.5
4. 公債費	30,000	0	30,000	30,000	
5. 諸支出金	7,697,000	7,696,880	120	120	3.8
6. 予備費	0	0	0	0	
歳出合計	206,372,000	204,110,752	2,261,248	2,261,248	100.0



事業勘定

